

平成 27 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

【めざす学校像】

- 校風・校是「自由と創造」「日新日進」のもと、生徒一人ひとりが自分の色を輝かせ、全体で虹の架かる学校
- 将来の「大阪」とグローバル化に対応する人材と「大阪の教育」をリードする教員が育つ学校
- 生徒・保護者・地域住民から信頼される学校

【生徒に育みたい力】

- 強靱な知性・みずみずしい感性・品格ある人間性
- 確かな学力（自己実現のための学力、知的好奇心、探究心 等）
- 生きる力（客観的事象分析・問題解決能力、意見表明・プレゼンテーション能力 等）
- 豊かな心（生命・人権の尊重、規範意識、異文化理解、多文化共生 等）
- 社会参加力（社会参加、社会貢献 等）

2 中期的目標

1 確かな学力を踏まえつつ、高い志を育み、進路実現をめざす取組みの推進

(1) 生徒のもつ学力を最大限に引き出す

ア 魅力ある授業の実施

効果的な補助教材の作成、教員の指導技術の一層の向上に努めるとともに、本校独自の「Can-do リスト」を作成し、生徒に明確な道標を提供する

*生徒向け授業アンケートの項目 8・9（内容に興味・関心が持てた・知識や技能が身についた）の平均点（H26：3.1/4 点満点）を平成 29 年度までに 3.2 以上に引きあげ、維持する

イ 講習・補習の充実

放課後、土曜日、長期休業中等の講習内容と規模を充実させ、進路実現に向けた指導を行う

*難関国立大学（京都大、大阪大、神戸大）への合格者数（現役生+既卒生/H26：70 人）を平成 29 年度までに 80 人以上に引きあげ、維持する

*国公立大学への現役生の合格者数（H26：133 人）を毎年 130 人以上で維持する

ウ 英語運用能力の向上

英語で授業を行うことを基本としつつ、外部試験等を活用し、英語コミュニケーション能力の目標を明確に示すことで、生徒の英語運用能力を総合的に高める

*実用英語技能検定試験 2 級合格者数（H26：181 人）を毎年 100 人以上で維持する。

*TOEFL iBT（チャレンジ）のスコア取得（H26：60 以上 3 人/60 人）を平成 29 年度までにステージ 2（対象人数の 10%以上が 80 点以上、20%以上が 60～79 点）に引きあげる

(2) 生徒の科学的素養を拡大・定着させ、探究心を高める

ア 文理学科「課題探究講座」（文系・理系）の内容のさらなる充実と全校生徒での共有

*文理学科 2 年生の「課題研究」に対する満足度を高めるとともに、普通科生徒の参加数（H26：約 120 人）を平成 29 年までに 150 人以上に増やす

イ 創造探究事業（高大連携）の内容の充実

*1・2 年生の文理学科の外部連携事業への延べ参加者数（H26：725 人 12 月末現在）を平成 29 年度までに 960 人に引きあげ、維持する

ウ 海外の科学先進校との交流の推進

海外の科学先進校等との交流日数を増やすとともに、共同研究や共同発表会等を実施するなど、交流内容を充実させる

*交流日数（H26 年度：3 日）を平成 29 年度までに 10 日に増加させ、維持する

(3) 進路指導をさらに充実させる

ア 自己実現に向けた体験型進路学習（職場訪問、大学研究室訪問）の充実

1 年生は、望ましい職業観・勤労観を育成することを目標に、訪問時のインタビューの精度を高めるとともに、プレゼンテーションの質的向上を図る

2 年生は、大学における学問・研究に対する理解促進を目標に、生徒同士が学んだ内容について実施するポスターセッションの質的向上を図る

*1・2 年生とも訪問先（H26：1 年生 63 カ所、2 年生 52 カ所）を 50 カ所以上、生徒満足度（H26：95%）を 90%以上で維持する

イ 3 年間を見据えたキャリア教育の充実

学校としての進路指導方針（高津進路プログラム：KSP）を確立し、学年の進路指導ホームルームや進路説明会をより系統的に計画・実施する

*生徒・保護者向け学校教育自己診断の進路指導への満足度（H26：83%・78%）を、平成 29 年度までに生徒 85%、保護者 80%以上に引きあげ、維持する

2 スクールアイデンティティに基づく、豊かな心の育みと規律・規範の確立

(1) 人権尊重と生徒の社会体験活動の促進

*生徒・保護者向け学校教育自己診断の、人権に関する指導に対する肯定率（H26：生徒 80% 保護者 76%）を、80%以上に引き上げ、維持する

*部活動参加生徒による「高津キャラバン隊」の実施クラブ率（H26：70%）を、平成 28 年度までに 90%以上に引きあげ、維持する

(2) 規律・規範意識の向上

*年間の遅刻者総数（H26：1,966 件）を 2,000 件以下で維持する

(3) 生徒の自主的活動の活性化（部活動、生徒自治会活動）

*部活動加入率（H25：88%）を、85%以上で維持する

*記念祭（体育祭・文化祭）における生徒実行委員会（三部会）に参加する生徒数（H26：220 人）を 200 人以上で維持する

(4) きめ細やかな保健指導と教育相談体制の充実

*生徒向け学校教育自己診断の保健室利用、教育相談に対する満足度（H26：70%）を、平成 29 年度までに 75%以上に引きあげ、維持する

3 教職員の資質向上と学校運営体制の確立

(1) 教科指導力の向上

*生徒向け授業アンケートの全項目平均値（H26：3.2/4 点満点）のさらなる向上に努める

(2) 研修の充実

*教員向け学校教育自己診断の校内研修に関する肯定率（H26：76%）を、平成 29 年度までに 80%以上とし、維持する

(3) ミドルリーダーの育成と経験の少ない教員のさらなる資質向上

*教員向け学校教育自己診断のミドルリーダー育成に関する肯定率（H26：55%）を、平成 29 年度までに 70%以上とし、維持する

(4) 学校の組織的運営

*教員向け学校教育自己診断の各分掌や学年・教科等の円滑な連携・有機的機能に対する肯定的意見（H26：58%）を平成 29 年度までに 80%以上とし、維持する

(5) ICT活用ならびに実験・実習、体験的な教科指導の充実、校務の効率化及び情報共有

*生徒向け学校教育自己診断の ICT 活用や実験・実習、体験的な教科指導に対する満足度（H26：82%）を、80%以上で維持する。

*教員向け学校教育自己診断の、校務の効率化及び情報の共有に対する肯定的意見（H26：48%）を、平成 29 年度までに 70%以上とし、維持する

(6) 地域に開かれた学校づくりの推進

*生徒による社会体験・貢献活動（ボランティア講座、支援学校との交流、クラブ員によるキャラバン隊 等）をさらに活性化させる。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析〔平成27年12月実施分〕	学校協議会からの意見
<p>○今年度も、生徒・保護者の皆様から概ね高い評価をいただきました。経年変化を確認する観点から、今年度も、肯定率80%以上ならびに60%未満の主な項目と認識、今後の課題を記します。</p> <p>【学習指導等】</p> <p>■生徒【80%以上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業には、ICT機器が積極的に取り入れられている」87% ・「学習に対する評価は適切で納得できる」81% <p>■保護者【80%以上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校は教育方針をわかりやすく伝えており、共感できる」88% ・「学習に対する評価は適切で納得できる」86% ・「講習や補習は学力向上、進路希望の実現に役立っている」87% <p>■教職員【80%以上】【60%未満】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業に実験・実習等体験的な学習が適切に取り入れられている」88% ・「私は、授業にICTを積極的に取り入れようと努めている」59% ＊学習指導に関しては、ほとんどの項目で昨年度以上の評価をいただきました。さらなる授業力の向上や、より適切なカリキュラムの構築、効果的な講習・補習に努めます。 <p>【進路指導等】</p> <p>■生徒【80%以上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「将来の生き方や進路を考える機会が数多く提供されている」81% ・「教職員は生徒の進路実現に積極的に取り組んでいる」87% <p>■保護者【80%以上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「将来の生き方や進路を考える機会が数多く提供されている」81% <p>■教職員【80%以上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「将来の生き方や進路を考える機会が数多く提供されている」80% ＊自習室の開設、土曜講習の充実などの前向きな改革が、多くの生徒・保護者に受け入れられたものと喜んでいきます。生徒の希望進路実現に向けて、さらに戦略的・効率的な支援に努めます。 <p>【生徒指導等】</p> <p>■生徒【80%以上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人権を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てようとしている」85% ・「本校の教職員は人権を尊重しており、体罰やセクハラはない」86% <p>■保護者【80%以上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校の生徒指導の方針に共感できる」82% ・「人権を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てようとしている」81% ・「本校のクラブ活動は充実しており、活動時間・内容は適切」81% <p>■教職員【80%以上】【60%未満】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生徒の人権を尊重した指導を行っており体罰やセクハラはない」81% ・「本校の生徒指導方針は適切で、教職員に共有されている」51% ＊基本的には、昨年度とほぼ同じように高評価をいただきました。自治会活動に対する評価も、生徒において改善傾向にあり、引き続き、高津らしい生徒指導を一層明確にし、磨きをかけたいと考えています。 <p>【学校運営等】</p> <p>■生徒【80%以上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「SSH、GLHSとして設定されている活動は充実している」85% ・「教職員は教育活動に熱心に取り組んでいる」86% <p>■保護者【80%以上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「本校では、校風・校是を踏まえた教育活動が行われている」93% ・「SSH、GLHSとして設定されている活動は充実している」90% ・「教職員は教育活動に熱心に取り組んでいる」90% ・「本校は家庭への連絡や意思疎通が図られており、信頼感がある」81% <p>■教職員【80%以上】【60%未満】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保護者と緊密に連携し、信頼感が醸成されている」84% ・「SSHとしての取組みには意識を共有して取組み、充実している」58% ＊今年度も、学校の適切な発信・説明およびSSH・GLHSとしての活動等について、保護者から共感を伴う高い評価をいただきました。相互の信頼感が確認できたこと、教員の取組み等をしっかりと確認していただいております。さらなる向上に努めます。 <p>【その他】</p> <p>■生徒【80%以上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高津高校に入学してよかった」90% <p>■生徒【60%未満】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教室・廊下・トイレ等の環境は、学習の場にふさわしい」52% <p>■保護者【80%以上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分の子どもは、学校の授業に満足している」81% ・「自分の子どもは、学習と課外活動をうまく両立できている」80% ・「高津高校に入学させてよかった」93% <p>■教職員【60%未満】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教室・廊下・トイレ等の環境は、学習の場にふさわしい」54% ＊「高津高校に入学して（させて）よかった」という回答が、生徒・保護者ともに90%を超えています。素直に喜びを感じます。トイレ等の環境面は低い評価となりましたが、できる限りの工夫等を行い、さら 	<p>第1回（7/24）</p> <p>【平成27年度学校経営計画及び学校評価等について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの計画に数値目標が掲げられているが、目標に縛られすぎると、学校に閉塞感が漂いがちである。教職員の意見も踏まえたいという目標ということなので大丈夫だと思うが、ある程度のゆとりを持ちながら進めてもらいたい。 <p>【Global Leaders High School 評価について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価項目に関して、例えば、センター試験において、5教科7科目受験者の割合が評価指標になっており、受験するだけで評価されるという設定には違和感も感じるが、5教科7科目受験者割合は、高い志を持って挑戦していることの「数値化できる一つの指標」ということだろう。受験者割合が高い方が、得点率8割以上の数も多く、志と実績は一定連動しているものと考えられる。生徒の進路希望実現に向けて、一層の努力を期待する。 <p>【本校の特色ある教育活動について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これらの取組みについては、企画・立案も含めて各学校の教員が行うそうだが、正直、大変だろう。教員の個人的つながり等によって支えられている部分が多いとも聞く。一部の教員だけで進めるのではなく、学校（教職員）全体で取り組んでいく形にすること、より組織的な対応が喫緊の課題だろう。 <p>【その他 ～今後の方向性等に関して～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高津生だけではないが、若者の「ここぞ」というところで集中して勉強する力、踏んばる力が低下しているように感じている。どちらかといえば、過剰とも言えるサービスを受けることに慣れてしまっている生徒に、どこまで自由に行動させるのか、自己責任を求めるのか、難しいところで葛藤がある。 ・高津生は比較的うまく大学生活にも順応できていると聞いている。同窓会やインターネット等を通じて、卒業生を追跡し、その結果を前面に出して高津の新しい魅力をアピールしてはどうか。 <p>第2回（12/18）</p> <p>【学校経営計画の進捗状況について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね順調に進んでいるということなので、引き続き円滑な進行をお願いしたい。 <p>【平成28年度行事予定について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度、記念祭について、ミストシャワーの配置など、熱中症予防に最善を尽くしたうえで実施時期を早められたが、当日は肌寒いほどだったということなので参考にはならないだろう。 ・生徒は概ね元気だが、やはり体調不良者への配慮は大切だ。また、保護者で体調不良の方が出ることもある。引き続き、最大限の配慮を行ったうえで、年間を通じた教育計画の中で総合的に判断すべき問題であり、とりわけ学力向上という趣旨を踏まえて、効果があるようなら継続することが望ましいし、効果がなければ柔軟に元に戻すことも考えればよいだろう。 ・生徒の希望進路実現、学力向上に向けて、来年度、考査の見直しを検討しているとのことだが、単に回数を増やしても一夜漬けでは意味がないし、そのように学習した科目は定着しない。過重な負担にならぬよう、また、その後の学習活動につながるような設問内容とすること等で、めざす効果があがると思われる。知恵を出して工夫に努めてもらいたい。 <p>【その他 ～校内のセキュリティ対策～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心に対する意識が高まっており、本校でも残念ながら校内での窃盗等もあると聞いている。本校は制服がないこともあり、誰でも入りやすい環境であり、一定のセキュリティ対策は行うべき時代になっている。 ・校内2カ所の出入り口に防犯カメラを設置してはどうだろうか。「学校に監視カメラを置くのか」という疑問・不安も必ずあるだろうが、集合住宅での防犯カメラはあたり前になったし、小中学校ではインターホンで門扉の開閉をしている状況もある。 ・セキュリティを高めるためには手間が増大するのは仕方がない。防犯カメラを設置するとともに、受付簿、名札ホルダーなど、すぐに定着することは無理でも、5年、10年すれば習慣づくように努力していってもらいたい。 <p>第3回（3/18）</p> <p>【平成27年度学校経営計画及び平成28年度学校経営計画（案）について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も、学校経営計画に沿って、計画的に学校経営を進めていただき、概ね目標も達成できている。来年度の計画（案）も、これまで積み上げてきた実績をさらに補強していくものとなっており、適当である。 ・とりわけ、「授業メソッド」を統一するという発想はとても良い。授業の形を統一することで、新しく赴任された先生も助かる。作ったうえで、それを維持していくことが大切であり、個々の教員の良いところは伸ばしつつ、学校全体が丸となって、より良い授業ができるようにしていってもらいたい。 ・教員の年齢構成が、いわゆる「ワイングラス型」になっている現状があるということだが、そこへの対応という意味でも「高津授業メソッド」の構築は、教員の経験を伝えることにつながる効果的なものだと思う。今後想定される教員の世代交代がスムーズに進むよう、3～5年スパンで計画的に対応してもらいたい。 <p>【平成28年度大学入試結果（中間報告）について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間報告ではあるが、昨年度をさらに上回る結果となっており、進路指導部を中心とした学校全体での継続的な指導が、功を奏していると思われる。引き続き、生徒の希望進路の実現に努めてもらいたい。 <p>【平成28年度行事予定について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の希望進路の実現に向けて、より効果的な行事予定を考えていく中で、具体的な対策として、来年度、夏季休暇の前に考査を加えるということだが、生徒たちが自主的に自らの課題克服等に取り組むためには、やはり夏季休暇はポイントとなる重要な期間であり、その直前に考査を行い、生徒一人ひとりが自分の状況をしっかりと認識できる機会を設けることには、大きな意味がある。負担という声もあるだ

に良い学習環境の構築に努めます。	ろうが、そこへの配慮も盛り込みながらうまく定着させてもらいたい。
------------------	----------------------------------

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
確かな学力をふまえつつ、高い志をはぐくみ、進路実現をめざす取組み	【進路実現に重点を置いた教育課程の再構築】 ア 文理学科2年次の課題探究講座の充実	ア・文理学科2年次の「課題研究（高津 LCⅡ）」において、大学等外部機関との新たな連携を進め、より効果的・効率的に生徒の探究心とプレゼンテーション能力の向上を図る。（継続・発展）。また、生徒発表会への普通科生徒の参加を増やし、その成果をより多くの生徒に普及させる。（継続）	ア・文理学科2年生の「課題研究（高津 LCⅡ）」に対する満足度（H26：93%）100%をめざす。 ・研究発表分科会への普通科生徒の参加人数（H26：約120人）を150人以上に増やし、参加した生徒にアンケートを実施（新規）し、満足度を80%以上にする。	ア・アンケートでの満足度は94%で、外部助言者からの評価も概ね高く、内容は年ごとに進化している。（○） ・普通科生徒の参加者数は163人、満足度は約81%だった。（◎）
	イ 魅力ある授業等の実施	イ・効果的な補助教材（ICT活用を含む）の開発とともに、教員同士の授業交流と研究協議を一層活発にし、指導技術をさらに高める。（継続・発展） ・授業におけるICTの活用を図る。（充実） ・高大連携事業等をすすめ、大学における学問や研究に対する興味関心を高める。（充実） ・1・2年生全員対象に英語少人数集中講座を通して、英語コミュニケーション能力を向上させる。また、1・2年生を対象に、実用英語技能検定試験、TOEFLiBT（チャレンジ）等の受検を促進する。（発展） ・土曜講習や補習等の内容をさらに充実させ、生徒の学力を向上させる。（充実）	イ・生徒向け授業アンケートの項目8・9（内容に興味・関心が持てた・知識や技能が身についた）の平均点（H26：3.1／4点満点）を3.2以上に引きあげる。 ・生徒・教員向け学校教育自己診断の、授業におけるICT活用についての肯定率（H26：生徒82%、教員51%）を、生徒85%、教員55%に引きあげる。 ・高大連携事業への参加生徒数（H26：725人）を900人以上に引きあげる。 ・1・2年生全員に実用英語技能検定試験の受験を促し、英検2級合格者（H26：181人）を100人以上で維持する。 ・生徒向け学校教育自己診断での肯定率（H26：76%）を80%以上に高める。	イ・生徒向け授業アンケート結果は、3.23と目標を達成。さらなる授業力の向上に努める。（◎） ・授業におけるICT活用の肯定率は、生徒：87%、教員：59%とともに目標を達成。さらに工夫を続ける。（◎） ・高大連携事業への参加生徒数は、（1,339人）で、目標を大きく超えることができた。引き続き、1,000人以上を維持する。（◎） ・実用英語技能検定試験、英検2級合格者は138人で、目標達成の予定。引き続き、100人以上を維持していく。（○） ・生徒向け学校教育自己診断での肯定率は、75%と目標は達成できなかったが、「よくあてはまる」は38%とH26年度：33%から5ポイント増えており、内容的には向上が図られた。（○）
	ウ 体験型進路学習の充実	ウ・総合的な学習の時間を活用し、7月と11月に実施する体験型進路学習を通して、進路に対する意欲を高める。（継続・発展） 1年生「職場訪問」 2年生「大学研究室訪問」	ウ・生徒の満足度（H26：95%）を90%以上で維持する。	ウ・生徒の満足度は、共に92%と目標達成。引き続き、内容の向上に努める。（◎）
	エ 教育課程の点検	エ・生徒の進路実現をより強く支援する観点から教育課程を再構築する。（継続・発展）	エ・H28年度から導入するTOEFLiBT受験に向けたコースについて、詳細まで決定し広報する。 ・生徒向け学校教育自己診断での教育課程に関する肯定率（H26：69%）を75%以上にする。	エ・詳細決定後、学校説明会等で広報に努めた。参加者の関心も高く、引き続き入念な準備のうえ、実践につなげる。（○） ・生徒向け学校教育自己診断での肯定率は72%と目標には届かなかった。さらなる改善に努める。（△）

府立高津高等学校

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">豊かな心のはぐくみと規律・規範の確立</p>	<p>【人権尊重と規範意識の向上】</p> <p>ア 人権尊重精神の育成</p> <p>イ 社会体験・社会貢献活動の促進</p> <p>ウ 基本的生活習慣の定着</p> <p>エ 教育相談体制の充実</p>	<p>ア・学年進行に応じて、計画的に人権尊重の精神を涵養する。(継続・充実)</p> <p>・SSH事業等を通して、海外の高校生等との交流を促進し、国際理解を促進する。(充実)</p> <p>イ・社会体験・社会貢献活動を促進する。(継続) 東大阪支援学校、視覚支援学校との交流 クラブ員の社会貢献活動「高津キャバ隊」 高校生フェスティバルでの高齢者との交流</p> <p>ウ・挨拶の励行と遅刻者数の減少に取り組む。(充実)</p> <p>エ・支援や配慮を要する生徒対象に、スクールカウンセラーによる助言等の機会を通して、生徒及び保護者の悩みの解消に努める。(継続・発展)</p>	<p>ア・生徒・保護者向け学校教育自己診断での肯定率(H26:生徒80%保護者76%)を、ともに80%以上に引きあげる。</p> <p>・生徒・保護者向け学校教育自己診断での満足度(H26:90%)を90%以上で維持する。</p> <p>イ・全クラブが社会体験・貢献活動を年1回以上行う。</p> <p>ウ・遅刻者数(H26:1,639件/12月末現在)を2,000以下で維持する。</p> <p>エ・生徒向け学校教育自己診断の保健室利用、教育相談に対する満足度(H26:70%)保護者の学校への相談に対する満足度(H26:62%)をともに5%以上引きあげる。</p>	<p>ア・学校教育自己診断での肯定率は、生徒85%、保護者81%と目標を達成。引き続き、一層の内容の向上に努める。(◎)</p> <p>・学校教育自己診断での満足度は、生徒:90%、保護者:91%と目標を達成。引き続き、さらなる内容の向上に努める。(◎)</p> <p>イ・全クラブが活動を終え、報告書の内容も一層充実した。引き続き、社会貢献の意識を高めていきたい。(○)</p> <p>ウ・2,137件と目標はクリアできなかったが、いわゆる怠惰による遅刻は確実に減少しており、引き続き指導に努める。(○)</p> <p>エ・生徒の保健室利用・教育相談の満足度:75%で目標達成。保護者の満足度:61%だったが、「わからない」という回答が28%と、全項目中最も高く、さらに周知を図ると同時に、指標を再考する。(△)</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">教職員の資質の向上と学校運営体制の確立</p>	<p>【教師力の育成】</p> <p>ア 教科指導力の向上</p> <p>イ 教職員研修の充実</p> <p>ウ ミドルリーダーや経験の少ない教員の育成(講師を含む)</p> <p>エ 校務のさらなる効率化と情報共有</p>	<p>ア・教員間の授業交流の促進、研究授業・協議を一層活性化させ、さらなる授業力向上に努める。(充実)</p> <p>・生徒による授業評価(年2回)や授業公開等を実施し、その結果を教員・教科にフィードバックし、授業改善に生かす。(発展・新規)</p> <p>イ・人権や教育相談をはじめ、校内研修や学校外の研修を通して、諸課題に対する理解を深める。(継続・充実)</p> <p>ウ・今年度の最重点課題として、より効果的・効率的な業務遂行が可能となる、本校らしいヒエラルキーを構築し、計画的なミドルリーダー育成に努める。(新規・充実)</p> <p>エ・学校のさらなる組織的運営を図る。(継続・発展)</p>	<p>ア・生徒授業アンケート全質問の平均値3.2以上を維持する。</p> <p>イ・教員向け学校教育自己診断における満足度(H26:76%)を75%以上で維持する。</p> <p>ウ・教員向け学校教育自己診断における肯定率(H26:55%)を60%以上に引きあげる。</p> <p>エ・教員向け学校教育自己診断における肯定率(H26:48%)を60%以上に引きあげる。</p>	<p>ア・生徒向け授業アンケート結果は、3.23と目標を達成。さらなる授業力の向上に努める。(◎)</p> <p>イ・教員向け学校教育自己診断における実質的な満足度は77%と価指標を達成できた。(○)</p> <p>ウ・教員向け学校教育自己診断における肯定率は53%と成果指標を下回ったが「わからない」が11%を占めている。引き続き、一層「見える形」での展開に努める。(△)</p> <p>エ・教員向け学校教育自己診断における肯定率は63%と評価指標を上回った。(◎)</p>